

第41回新潟シティマラソン 2025 大会結果

- 1 開催日時 令和7年10月12日(日)
マラソン/ファンラン スタート 8:30
ユニバーサルラン 9:00~10:40

- 2 参加人数(資料2参照) ※()内は2024大会

種目	定員	申込数	出走数	完走数	完走率
マラソン	9,000人 (9,000)	8,448人 (7,707)	7,690人 (6,966)	7,355人 (6,599)	95.6% (94.7)
ファンラン	3,000人 (3,000)	4,017人 (3,524)	3,572人 (3,142)	3,546人 (3,110)	99.3% (99.0)
小計	12,000人 (12,000)	12,465人 (11,231)	11,262人 (10,108)	10,901人 (9,709)	96.8% (96.1)

ユニバーサルラン	400人 (400)	551人 (556)	551人 (556)		
----------	---------------	---------------	---------------	--	--

- 3 優勝者一覧

マラソン	男子	大橋 秀星	東京都	2時間17分29秒 ※大会新記録
	女子	渥美 莉紗子	新潟市	2時間48分57秒
ファンラン	男子	月岡 義人	新潟市	33分42秒
	女子	山田 麻里江	沖縄県	40分57秒

- 4 救急出動

18件 熱中症(1件、疑い3件)、脱水(3件)、嘔吐・嘔気(6件)、
筋痙攣・痺れ(2件)、腹痛、打撲・骨折、胸部絞扼感
※2024大会:16件

- 5 ボランティア・スタッフ数

3,507人 ※2024大会:3,443人

- 6 大会当日の気象状況 ※()内は2024大会

時刻	天候	気温	湿度	風向・風速
午前8時	曇り (晴れ)	19.3度 (17.0度)	84% (81%)	南2.5m (南南東1.0m)
正午	曇り (晴れ)	24.1度 (24.0度)	81% (66%)	南東1.0m (北2.0m)
午後3時	曇り (晴れ)	25.0度 (22.0度)	75% (60%)	西南西3.5m (北3.0m)

7 大会振り返りアンケート

①ランネット大会レポート ※11/10 現在

82.1 点／393 件 （昨年度大会は 80.2 点／404 件）

※参考：今年度全国で開催された大会の平均値→78.9 点

②大会独自アンケート ※初実施

今大会参加者（ユニバーサルラン除く）約 12,500 人に、アンケート調査を実施

目 的

新潟シティマラソンに参加したランナーのニーズや評価を把握し、次年度以降の運営改善につなげることで、さらなる参加者数の増加、大会満足度の向上を図る。
あわせて、本大会の経済波及効果を算出する。

調査項目

大会に関する各項目の評価、大会満足度、大会参加に伴う支出 等

回答状況

回答数：**3,373 件**（回答率：27.6%） ※海外向けアンケート除く

第41回新潟シティマラソン2025 ランナーアンケート結果

1. 調査の目的

新潟シティマラソンに参加したランナーのニーズや評価を把握し、次年度以降の運営改善につなげることで、さらなる参加者の増加、大会満足度の向上を図る。あわせて、本大会の経済波及効果を算出する。

2. 調査の概要

【調査対象】第41回新潟シティマラソン2025のフル・ファンランの参加ランナー

【調査方法】Googleフォームによるウェブ回答（ランナーには事前・大会後に個別周知、HPにも掲載）

【調査項目】

- ◇個人属性：性別、年代、居住地、職業
- ◇参加内容：エントリー種目、完走タイム、エントリー方法、新潟シティマラソン参加回数
- ◇大会評価：大会の満足度（全体・スタート・コース・フィニッシュ）、エイド、総合満足度、次回大会への参加意欲、開催時期、大会情報の入手、参加動機 など
- ◇消費支出：交通手段（交通費）、宿泊有無（宿泊費）、飲食、観光、土産 など
- ◇自由意見

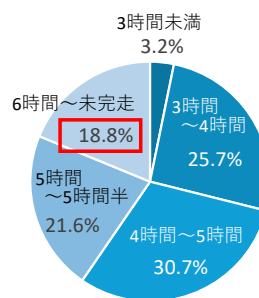
【回答件数】3,373件（マラソン：2506人、ファンラン：867人） 回答率：28.6%

3. 調査結果（まとめ） ※主な内容のみ記載

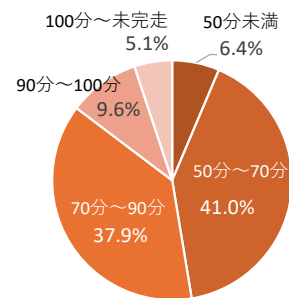
【参加内容（完走タイム）】

- ・マラソンでは2割弱が6時間以上でフィニッシュ
- ・制限時間の長さは高い評価や参加動機にも影響
- ・ファンランは現状の制限時間で未完走は0.5%

誰もが気軽に参加可能なマラソン大会として、現状の制限時間は高い評価を得ている。



完走タイム（マラソン）

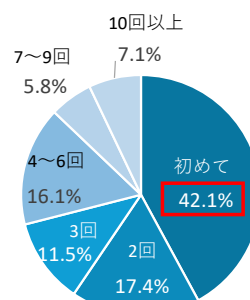


完走タイム（ファンラン）

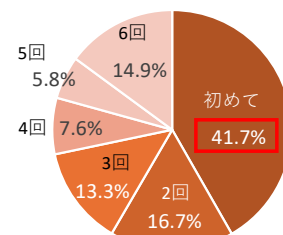
【参加内容（新潟シティマラソンの参加回数）】

- ・マラソン、ファンランとも初参加が全体の4割超
- ・そのうち、県内在住者の割合は、マラソンが34%、ファンランが75%でとなっている。
- ・県外在住者のうち、複数回参加した方の割合は、マラソンが35%、ファンランは38%で、県外からのリピーターも一定数存在している。

毎年初参加が一定数いることも想定し、次回も参加したいと思える大会運営が必要。



参加回数（マラソン）



参加回数（ファンラン）

■大会評価は各項目を6段階で評価

＜評価基準＞

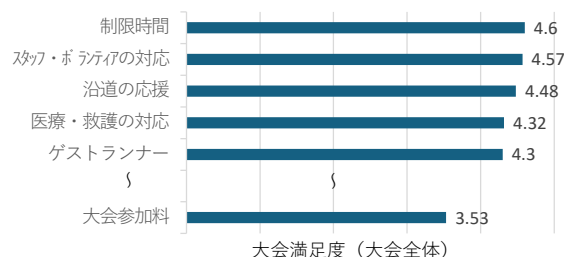
5:満足、4:やや満足、3:ちょうどよい、2:やや不満足、1:不満足、0:利用していない(わからない)

※平均値は「0:利用していない(わからない)」を除いて算出

【大会の満足度（大会全体）】

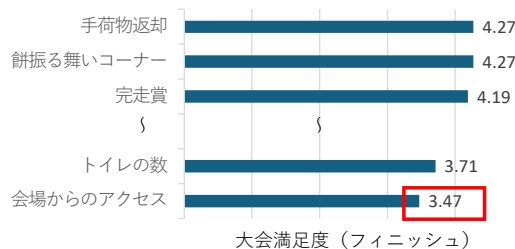
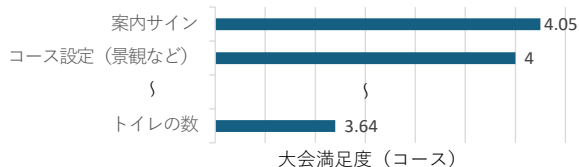
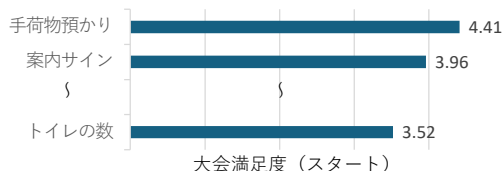
- ・大会全体の満足度では、最も評価点が高かった「制限時間」を除けば、「スタッフ・ボランティアの対応」、「沿道の応援」、「医療・救護の対応」が続き、スタッフ等の献身的な運営が高い評価を得ている。
- ・次いで評価の高い「ゲSTRランナー」については、高橋尚子さんの応援やハイタッチなどの対応がランナーに評価されており、自由意見でも称賛の声が多数あった。
- ・最も低い評価は「大会参加料」で値上げの影響が評価にも現れた結果となった。また、自由意見では、ファンランの参加料が高いという意見も見られた。（エイドのフード提供がない など）

- ・引き続き、関係者が一丸となってランナーへのおもてなしに取り組む必要がある。（沿道ボラ、ランナー応援隊など）
- ・ゲSTRランナーや参加料については、評価結果を踏まえて継続・見直しを判断。



【大会の満足度（スタート、コース、フィニッシュ）】

- ・「トイレの数」がいずれの場所でも評価が低く、スタート、コースではそれぞれ最も低い評価となっている。
- ・フィニッシュでは、「完走賞」や「餅振る舞いコーナー」、「手荷物返却」が高い評価となる一方で、「会場からのアクセス（シャトルバス便数など）」は全ての項目の中で最も低い評価となっている。



【エイド（フードについて）】

- ・新潟ならではのフード（もも太郎、笹団子、カップごはん）、バナナのほか、姉妹大会の佐渡トキマラソンから提供のりんごジュースが高い評価を得ている。
- ・一方で、自由意見では、「フードが何もなく、楽しめなかった。」「全参加者に行き渡るよう準備すべき。」といった意見が多数あり、連動して回答者の総合満足度や次回大会への参加意欲も低い結果となっている。

- ・評価結果が著しく低い項目は、次年度大会に向けて対策が必須。（トイレ、シャトルバス など）
- ・エイド（フード）に関しては、マラソン大会評価の重要な要素であることから、種類・提供数の拡充、提供方法の見直しなどに取り組む必要がある。

【総合満足度（100点満点）】

82.5点

（参考）ランネット大会評価 82.0点（12月1日現在、評価数395人）

【次回大会への参加意欲】

- ・「ぜひ参加したい」「できれば参加したい」の回答が全体の約9割となっている。
- ・次年度大会の日程が確定していないことで「わからない」を選択した方もいると考えられる。
- ・「あまり参加したくない」「参加したくない」を選択した方はエイド（フード）に関する不満が多い。

【開催時期】

- ・「現状のままだがよい」が全体の6割強となっている。時期を早めてほしい方は少数。
- ・自由意見では、「3連休中日だから参加できた。」「マラソンシーズンのスタートに適した大会」「数週間遅らせると近隣の大会と日程が重なるため避けるべき。」などがあった。
- ・懸念されていた暑さ対策のための日程変更（遅らせる）は意見として少なかった。

経済波及効果（後述）の観点からも現状の日程（10月3連休中日）が開催時期として適当。

【参加動機】

- ・「新潟や新潟シティマラソンが好きだから」が最も高い数値となった。次いで、「家族・友人・知人・同僚と楽しめるイベントだから」「自宅が近いから」「日程があったから」が高い数値となっている。
- ・その他として、興味や挑戦、体力・健康維持のほか、家族や友人がいる、地元など帰省のタイミングにあわせて参加している方も見受けられた。

【経済波及効果】

約10億円

※新潟県の「経済波及効果分析ツール」による試算。試算に必要な各種基礎データは以下のとおり設定

＜参加者＞ 21,933人（当日出走ランナー：12,364人、観客：9,569人）

※観客は、アンケート調査の「同伴者の人数」の回答結果からランナー1人あたり0.81人を見込む。（マラソン・ファンランの当日出走数にのみ適用）

＜運営費＞ 大会運営費として、2025大会の準備及び開催に係る経費として217,156千円を設定

＜消費支出＞ イベント参加者の消費支出額については、アンケート調査の回答結果を基に設定（交通費、宿泊費、飲食費、観光娯楽費、土産代、その他(スポーツ用品等)）

※ランナーは居住地別・宿泊有無別の平均支出額から算出

※観客は、アンケート調査の「同伴者の支出総額」の回答結果からランナー1人あたり平均支出額の70%で設定

第 40 回新潟シティマラソン 2024 大会実施報告

- 1 開催日時 令和 6 年 10 月 13 日(日)
マラソン/ファンラン スタート 8:30
ユニバーサルラン 9:00~10:40
【今大会の主なポイント】
○佐渡トキマラソンとの連携
○令和 6 年能登半島地震 被災地支援(ニックネーム入りアスリートビブス)

2 参加人数 ※()内は 2023 大会

種目	定員	申込数	出走数	完走数	完走率
マラソン	9,000 人 (9,000)	7,707 人 (6,852)	6,966 人 (6,130)	6,599 人 (5,874)	94.7% (95.8)
ファンラン	3,000 人 (3,000)	3,524 人 (3,169)	3,142 人 (2,824)	3,110 人 (2,811)	99.0% (99.5)
小計	12,000 人 (12,000)	11,231 人 (10,021)	10,108 人 (8,954)	9,709 人 (8,685)	96.1% (97.0)

ユニバーサルラン	400 人 (400)	556 人 (435)	556 人 (435)		
合計	12,400 人 (12,400)	11,787 人 (10,456)	10,664 人 (9,389)		

3 優勝者一覧

マラソン	男子	大橋 秀星	東京都	2 時間 18 分 57 秒
	女子	澤畠 朋美	埼玉県	2 時間 37 分 23 秒 ※大会新記録
ファンラン	男子	岡田 瑞生	三条市	33 分 20 秒
	女子	齊藤 真世	神奈川県	41 分 47 秒

4 救急出動

16 件 熱中症(1 件、疑い 3 件)、脱水(2 件)、意識消失、嘔吐(2 件)、
後頸部痛、全身脱力感、過呼吸、左肩打撲、肋骨骨折疑い、血圧低下、腹痛
※2023 大会:6 件

5 ボランティア・スタッフ数

3,443 人 ※2023 大会:3,250 人

6 大会当日の気象状況 ※()内は 2023 大会

時刻	天候	気温	湿度	風向・風速
午前 8 時	晴れ (曇り)	17.0 度 (15.4 度)	81% (84%)	南南東 1.0m (南 1.9m)
正午	晴れ (薄曇)	24.0 度 (21.2 度)	66% (57%)	北 2.0 m (北北東 2.0 m)
午後 3 時	晴れ (薄曇)	22.0 度 (20.8 度)	60% (60%)	北 3.0 m (北東 3.1 m)

7 ゲストランナー

(1) マラソン・ファンラン

高橋 尚子さん、大島 めぐみさん、松宮 隆行さん、市河 麻由美さん

(2) ユニバーサルラン

小柳 亮太さん(元豊山関)

8 エイドステーション(全 13 カ所のうちフード提供 5 カ所)

ミニカップごはん、もも太郎、米菓(ハッピーターン、ぱりんこ、ばかうけ等)、バナナ、佐渡市提供物品(西三川りんごジュース、佐渡の米粉ビスコッティ、金山小判飴)

9 広報

(1) 募集告知

パンフレット・ポスター配置、テレビ、ラジオ、新聞、やすらぎ提告知看板、新潟シティマラソン展示企画、首都圏に向けた SNS 広告、新潟駅の活用 ほか

(2) 大会盛り上げ

テレビ番組、YouTube 生配信、新聞広告

10 参加賞等

(1) マラソン・ファンラン 参加賞 (エントリー時に選択)

①T シャツ、②ランニングキャップ、③トートバッグ

(2) マラソン・ファンラン 完走賞

フィニッシャータオル、ジャンボおにぎり 又は パックごはん

(3) ユニバーサルラン 参加賞

佐渡の金山小判飴、コアラノマーチ、ぱりんこ等 詰合せ

11 佐渡トキマラソンとの連携

スペシャルビブス、W 完走メダル、新潟佐渡カップ、エイドステーションでの佐渡フードの提供

12 令和 6 年能登半島地震 被災地支援 (ニックネーム入りアスリートビブス)

一口 500 円の義援金を募り、「ニックネーム入りアスリートビブス」を付与

義援金規模：5,233 人 2,616,500 円

13 参加者の声 (RUNNET大会レポ)

(1) 総合評価

80.4 点 (第 39 回 2023 大会/69.2 点、第 38 回 2022 大会/70.3 点)

(2) コメント(主なもの)

- エイドステーションは新潟らしさがあり、種類が充実していた。
- コースはほぼ平坦で、都市部だけでなく海・川沿いの自然を感じる良いコース
- 途切れない沿道応援とボランティアの方の働きは秀逸で温かな気持ちで走れた。
- 高橋尚子さんの応援・ハイタッチに元気づけられた。
- 佐渡トキマラソンとのコラボ企画、金ピカの完走メダルはすごく嬉しかった。
- 次回はニックネーム入りゼッケンで沿道から名前を呼ばれたい。
- スタート・ゴールを一緒にしてほしい。
- マラソン・ファンランを別スタートにしてほしい。
- スタート会場のトイレに関する情報が少ない(場所・何基ずつあるか)
- エイドの補給食の品切れ、紙コップ不足を解消すべき。笹だんご復活を希望。
- フィニッシュ会場のシャトルバス乗り場が分かりにくく、待ち時間が長い。

14 振り返り

(1) 定員割れの解消

参加ランナー満足度の向上、効果的な広報活動、佐渡トキマラソン連携の進展

(2) 協力・関係団体との連携の維持・強化

実行委員会、協賛団体、新潟県警、道路管理者等

(3) ボランティアの確保

「支える人」がいてのマラソン大会。「する人」との“一体感”を大切にした企画運営

(4) 暑さ対策

エイドステーションでの紙コップ不足、救護所利用者の増加 等

第 39 回新潟シティマラソン 2023 大会実施報告

- 1 開催日時 令和 5 年 10 月 8 日(日)
マラソン/ファンラン スタート 8:30
ユニバーサルラン 9:00~10:40

【今大会の主なポイント】

- 前回大会に引き続き「ユニバーサルラン」を実施
- 新型コロナウイルス感染症対策の緩和
- エイドステーションの充実・強化

- 2 参加人数 ※()内は 2022 大会

種目	定員	申込数	出走数	完走数	完走率
マラソン	9,000 人 (9,000)	6,852 人 (4,256)	6,130 人 (3,875)	5,874 人 (3,740)	95.8% (96.5)
ファンラン	3,000 人 (3,000)	3,169 人 (2,409)	2,824 人 (2,145)	2,811 人 (2,144)	99.5% (99.9)
小計	12,000 人 (12,000)	10,021 人 (6,665)	8,954 人 (6,020)	8,685 人 (5,884)	97.0% (97.7)

ユニバーサルラン	400 人 (400)	435 人 (429)	435 人 (408)		
----------	----------------	----------------	----------------	--	--

- 3 優勝者一覧

マラソン	男子	大橋 秀星	東京都	2 時間 18 分 03 秒 ※大会新記録
	女子	堀江 紗希	愛知県	2 時間 44 分 57 秒 ※大会新記録
ファンラン	男子	壬生倉 拓弥	千葉県	33 分 30 秒
	女子	江部 桃子	新潟市	39 分 32 秒

- 4 救急出動

6 件 顔面外傷、一過性の意識消失、熱中症疑い(2 件)、意識障害、過呼吸・脱水
※重症事例無 ※2022 大会緊急出動件数:5 件

- 5 ボランティア・スタッフ数

3,207 人 ※2022 大会:3,143 人

- 6 大会当日の気象状況 ※()内は 2022 大会

時刻	天候	気温	湿度	風向・風速
午前 8 時	曇り (曇り)	15.0 度 (16.5 度)	83% (70%)	南 3.0 m (南東 2.0m)
正午	晴れ (曇り)	20.6 度 (19.6 度)	56% (62%)	北東 2.0 m (南東 5.0m)
午後 3 時	曇り (曇り)	21.0 度 (19.0 度)	58% (58%)	北東 4.0 m (東南東 6.0m)

- 7 ゲストランナー

- (1) マラソン・ファンラン

市橋 有里さんほか

- (2) ユニバーサルラン

永田 務さん、小柳 亮太さん(元豊山)

8 参加賞等

- (1) マラソン・ファンラン 参加賞
オリジナルTシャツ
- (2) マラソン・ファンラン 完走賞
フィニッシャータオル、ジャンボおにぎり 又は パックごはん
- (3) ユニバーサルラン 参加賞
オリジナルリストバンド、コアラノマーチ、ぱりんこ等 詰合せ

9 エイドステーション(全 13 カ所 うちフード提供 5 カ所)

ミニパックごはん、笹団子、もも太郎、ハッピーターン、ぱりんこ、ガーナミルク

10 広報

- (1) 募集告知
パンフレット・ポスター配置、テレビ、ラジオ、新聞、SNS、YouTube 広告、新潟駅（自由通路バナー、階段）、やすらぎ提看板
- (2) 大会盛り上げ
テレビ番組、YouTube 生配信、新聞広告、新潟駅（自由通路バナー）

11 参加者の声（RUNNET大会レポ）

- (1) 総合評価
68.8 点（第 38 回 2022 大会/70.3 点、第 36 回 2018 大会/65.9 点）
- (2) コメント(主なもの)
 - スタート前のごみ回収ボランティアのおかげで気持ちよく準備ができた
 - エイドステーションが充実していた
 - 市街地だけでなく、海・川沿いの飽きのこないコース
 - ボランティアの対応・応援に感謝
 - 市橋有里さんに辛いところで元気をもらえた
 - スタート会場への渋滞対策を検討してほしい
 - スタート会場のトイレの数の情報が少ない(場所・何基ずつあるか)
 - マラソン・ファンランを別スタートにしてほしい
 - 桃太郎アイスを食べることができなかった
 - フィニッシュ会場のシャトルバス乗り場が分かりにくい(サインの増設希望)
 - 完走メダルがほしい
 - 高橋尚子さんがいなかったことでイベント感が薄れた

12 振り返り

- (1) 定員割れの解消
参加ランナー満足度の向上、第 40 回大会に向けた機運醸成、効果的な広報活動
- (2) 協力・関係団体との連携の維持・強化
実行委員会、協賛団体、新潟県警、道路管理者等
- (3) ボランティアの確保
「応援」や「支える人」がいてのマラソン大会
「する人」との“一体感”と“やりがい”を大切にした企画・運営